

「地域リーダー」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 2022年度版 農家相談の手引～農地・経営対策に役立つ！支援制度の資料集～

(R04-14 A4判 124頁 850円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。

「農地利用最適化」をはじめとする農業委員・推進委員の役割、「人・農地プラン」の実質化など農地と担い手の確保、経営継承や農業者年金など農業者の経営発展、国による支援制度に関する事項を収録しています。



2. Q&A 農業法人化マニュアル 改訂第6版

(R04-37 A4判 108頁 900円)

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に、法人化の目的やメリット、法人の設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問を一問一答形式で解説。改訂第6版では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性などを追加予定です。



3. 一般社団法人による集落営農・農村RMO設立・運営の手引

(R04-29 A4判 96頁 1,100円)

今後の農村政策の一つの柱として期待が寄せられている、農村RMO(農村型地域運営組織)。農村RMOが展開する活動は多種多様であり、それぞれの実情にあわせて法人形態を選択することが大切です。一般社団法人のメリット・デメリットや設立・運営の仕方を他の法人形態と比較しながら解説しました。



2. 改訂版 地域（集落）の未来設計図を描こう！

【全国農業図書ブックレット 15】

澤畑佳夫 著 (R02-30 A5判 72頁 700円)

茨城県東海村農業委員会の元事務局長で、現在は全国農業会議所の専門相談員の澤畑氏が、「地域（集落）の話し合いの進め方」について、これまでの座談会や講演会、研修会などの経験を踏まえて具体的に何をすべきか、現場出身者ならではの目線で伝えるブックレット。改訂版となる本書では、冒頭で新たに解説と推薦文を加えたほか、座談会前に取り組むべき準備についても解説しました。座談会成功的コツをわかりやすくまとめた一冊です。



3. 全員が発言する座談会が未来の地域（集落）をつくる 【全国農業図書ブックレット 16】 釘山健一/小野寺郷子 著(R02-31 A5 判 104 頁 900 円)

会議ファシリテーター普及協会（MFA）の釘山健一氏と小野寺郷子氏が人・農地プランの実質化のための座談会の進め方を丁寧に解説。本書では、「参加者が楽しく積極的に発言できる座談会」のつくり方をMFAが試行錯誤しながら培った「理論」に基づいてわかりやすく解説しています。



4. 「地域まるっと中間管理方式」とは？ —農地中間管理事業をフル活用！— 【全国農業図書ブックレット 18】 可知祐一郎 著 (R03-25 A5 判 74 頁 700 円)

農地の集積・集約化をはじめ、担い手の確保・育成や魅力ある地域づくりを実現する手法として注目を集めている「地域まるっと中間管理方式」。本書では、取り組みの方法を実際の事例を挙げながら実践的に学ぶことができます。



5. 未来の担い手を確保するために —現場で活躍するリーダーへの提言— 【全国農業図書ブックレット 13】 香川文庸 著 (30-18 A5 判 21 頁 400 円)

農業委員・農地利用最適化推進委員など地域リーダーによる「未来の担い手を確保するための話し合い」に役立つ話題提供のための一冊。人・農地プランの話し合いを前に進めるヒントや、農地利用の最適化に向けた地域の合意形成に役立つ提言を平易に解説しました。



6. 【リーフ】2022年度版 地域農業の将来を考えてみませんか ～進めよう！「人・農地プラン」の実質化 備えよう！「地域計画」～ (R04-13 A4 判 8 頁 100 円)

「人・農地プランとは何か」から、地域の関係機関が一体となって取り組むべき「意向把握」や「話し合い活動」などの『人・農地プラン実質化』のための流れを5つのステップに分けて説明したリーフレットです。令和5年4月1日から「人・農地プラン」の名称が「地域計画」に変わること等を踏まえ、今後の農業委員会が果たすべき役割についての解説も盛り込んでいます



「農業者」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月

(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 米政策

令和5年度 経営所得安定対策と米政策(R04-25 A4判 16頁 110円)

令和5年度の主食用米の需給安定のためには、作付け転換等に向けた政策に加え、関係者が一丸となって適正生産量を目指す取り組みが欠かせません。ゲタ・ナラシ対策、収入保険制度などの仕組みとメリットも紹介しており、これらの制度についての普及啓発資料としてもご活用いただけます。



2. 簿記

① 3訂 複式農業簿記実践テキスト

(R04-26 A4判 135頁 1,700円)

簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新。

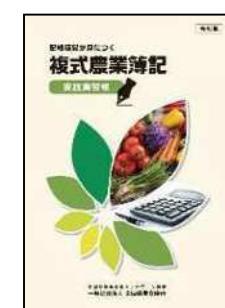


② 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳

(R03-08 A4判 48頁 420円)

「3訂 複式農業簿記実践テキスト(R04-26)」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。

テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



③ 改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記 ソリマチ(株)「農業

簿記11」体験版CD-ROM付 (31-36 A4判 167頁 3,000円)

ソリマチ(株)の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めた人に最適の入門書です。



④ 2022年版 勘定科目別農業簿記マニュアル ～青色申告から経営改善につなぐ～
(R04-16 A4判 234頁 2,160円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理。「わからないとき」に必要な部分が参考しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書や研修会のテキストとして適しています。最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。執筆者は税理士の森剛一氏。



3. 税 制

① 令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08 A4判 127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



② 令和4年度版 農家のためのなんでもわかる 農業の税制

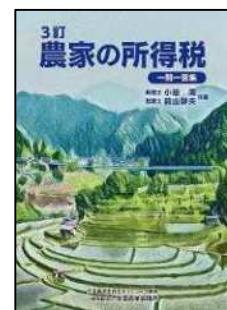
(R04-07 A5判 180頁 1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問についてていねいに答えています。



③ 3訂 農家の所得税 一問一答集 (R04-21 A5判 363頁 2,860円)

所得税の計算の仕組みや手続きを中心に、相続税や贈与税など農家の関心が高い税目について一問一答形式で幅広く解説。インボイス制度の導入に伴い注目される消費税関係の30問も追加しました。セルフメディケーション税制やひとり親控除など最新の税制に加え、国税電子申告に関わる新たな動きも取り上げています。著者は元国税庁の税理士・小田満氏、前山静夫氏。



④ 改訂 農業者の消費税～届出から申告・納付まで～

(R04-24 A4判 105頁 900円)

農業者で消費税の課税事業者となる方のために消費税の仕組みや確定申告書の作成などを解説した手引書。今回の改訂では、インボイス制度導入で迫られる課税事業者の選択にあたっての判断要素や必要な手続きなどを追加。



⑤ 【リーフ】準備ができますか？消費税のインボイス制度

(R04-24 A4判 105頁 900円)

消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）導入で迫られる課税事業者となるか否かの選択。課税事業者、簡易課税事業者、免税事業者となっている農業者の対応や、免税事業者があえて課税事業者を選択し、発行事業者として登録を受ける際の総合的判断のポイントを整理しました。



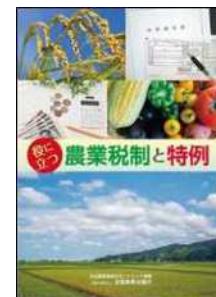
⑥ 【リーフ】改訂2版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか (31-23 A4判 8頁 90円)

相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説、相続時精算課税制度も収録。平成31年税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版の農業者向けリーフレットです。



⑦ 役に立つ農業税制と特例 (R03-38 A4判 44頁 400円)

農業経営を支援する税制として農業経営基盤強化準備金や青色申告、設備投資関連の取扱いなどを分かりやすく解説。農地の取引に関する税制も、譲渡や取得・保有、相続・贈与に至る場面に分けて、特例を含む制度の概要と対象者、活用のメリット、必要な手続きを紹介しています。



4. 家族経営協定、年金、認定農業者、農業法人化

① 【パンフ】「家族経営協定」で新しい時代をひらく

(31-32 A4判 12頁 160円)

農業経営や暮らしの現状確認を出発点に、世代や男女を問わず対等な立場で話し合い夢を実現する「家族経営協定」づくりのポイントや制度上のメリットを、東京農業大学の五條満義准教授が農家向けに書き下ろしたパンフレットです。5年ぶりにリニューアル。



② 【リーフ】地域農業の担い手 「認定農業者」

(R03-26 A4 判 12 頁 110 円)

認定農業者制度の概要やメリットを伝え、認定農業者になることを勧めるリーフレットです。認定農業者になるための要件や、なった場合の主な支援措置、2020 年 4 月から始まった国・都道府県認定とそれに伴う電子申請などについて説明しています。農業経営改善計画の様式と記載上の注意点も収録。



③ 【リーフ】農業経営を法人化しませんか？

(R02-25 A4 判 8 頁 100 円)

農業経営の法人化を志向する農業者向けのリーフレット。各種計画づくりのチェックポイントや法人設立の手順、法人化のメリットと義務・負担、会社法人と農事組合法人、農地所有適格法人の要件などを解説。農業法人設立・経営相談の窓口も掲載しています。



④ Q & A 農業法人化マニュアル 改訂第6版

(R04-37 A4 判 108 頁 900 円)

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に、法人化の目的やメリット、法人の設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問を一問一答形式で解説。改訂第6版では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性などを追加予定です。



5. 経営全般

① 新世代の農業挑戦—優良経営事例に学ぶ—叶 芳和 著

(26-14 新書判 251 頁 1,121 円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線を取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取組を紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



② 改訂 新・日本農業の実際知識 羽田 實／折原 直 改訂共著

(28-42 新書判 214 頁 1,019 円)

初版から 12 年。新たなデータを追加・更新して「日本農業の本当の姿」を解説しています。マスコミによる日本農業に対する多くの誤解や経済界・農業界の疑問に対して明快に回答。TPP 問題にも言及しています。



③ だれでも楽しめる！簡単野菜づくり (25-29 A5判 115頁 1,257円)

野菜づくりの入門書が遂に登場。野菜づくりの基本とも言える土づくり、肥料の施用方法のイロハから、野菜ごとの栽培方法まで、イラストを使ってわかりやすく紹介しています（全ページカラー）。多数の著書があり、野菜づくりのトップエキスパートである園芸研究家・小林五郎氏の書き下ろし。野菜づくりを始める人はもちろん、経験がある人にも、きっと新しい発見がある一冊です。



④ 藤田智の園芸講座 藤田智 著 (R04-40 A5判 162頁 1,430円)

テレビでもお馴染みの筆者が楽しくわかりやすく野菜づくりを解説します。約50の野菜の栽培方法のほか、畠づくりの方法や病害虫防除についても紹介。菜園計画を立てるのに役立つ作付カレンダーも付いています。野菜づくりの入門書としてはもちろん、新しい知識を得たい経験者の方にもぴったりです。



⑤ 何でも聞いちゃえ アグリの話 第2集

(R04-18 A4判 48頁 800円)

全国農業新聞連載の「何でも聞いちゃえ アグリの話」で扱った記事をとりまとめた本の第2集。登場人物は、好奇心旺盛な高校1年生の瑞穂と、瑞穂の伯父で農業委員の耕一。2人の会話（Q&A）を通じて農業施策・用語をやさしく学べます。



⑥ なんでも聞いちゃえ アグリの話 ~農業施策・用語Q&A~

(31-33 A4判 47頁 800円)

全国農業新聞で連載している「何でも聞いちゃえ アグリの話」を1冊の本にまとめました。

認定農業者／H A C C P／T P P 11／農地利用の最適化／収入保険／軽減税率など、農業にまつわる用語を、Q&Aの会話形式で、やさしく分かりやすく解説しています。



⑦ 令和版 よくわかる農政用語集 ~農に関するキーワード1000~

(31-31 B6判 276頁 2,000円)

農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約1,000語集めてわかりやすく解説した用語集です。

農業の法律や制度・施策をはじめ、農業関係機関・団体、経営や生産技術、食料流通、販売、消費、環境問題などの各分野からおおむね1,000語選び、わかりやすく簡潔に解説・説明を加えています。



6. 「S T O P 鳥獣害」 シリーズ

① S T O P ! 鳥獣害～地域で取り組む対策のヒント～(27-34 A5判 203頁 1,019円)

第1章では岐阜大学応用生物科学部の鈴木正嗣教授が鳥獣による農作物被害の状況はどう変わったのか総括。今後の10年を展望します。第2章は鳥獣の種類別に対策をまとめました。シカ、イノシシ、サル等11種について第一人者が被害対策を解説。第3章では全国農業新聞で連載中の「ストップ鳥獣害」から16の取り組みを紹介しています。



② 【事例集】鳥獣害対策最前線～鳥獣種別対策編～

(31-25 A5判 205頁 1,500円)

全国農業新聞で連載中の「S T O P 鳥獣害」シリーズの記事を中心に現場の取り組みを紹介した事例集です。イノシシ、シカ、サルを中心に、ハクビシン、アライグマなど中型獣への対策、カラスなどの鳥害対策を取り上げています。94事例収録。



③ 【事例集】鳥獣害対策最前線～ジビエ・2次利用編～

(31-26 A5判 103頁 800円)

全国農業新聞で連載中の「S T O P 鳥獣害」シリーズの記事を中心に現場の取り組みを紹介した事例集です。イノシシ、シカ、サルを中心に、ハクビシン、アライグマなど中型獣への対策、カラスなどの鳥害対策を取り上げています。94事例収録。



※②と③をセットで購入すると、2,300円→2,000円へ値引き。

7. 病害虫・雑草フィールドブック

主要な病害虫・雑草をカラー写真とともに簡潔に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

①水稻編 (17-04 新書判 87頁 1,048円)

病害16種、害虫23種、雑草39種を収録。



②野菜編 (17-05 新書判 102頁 1,048円)

病害94種、害虫33種、雑草26種を収録。

③柑橘編 (17-57 新書判 97頁 1,048円)

病害19種、害虫31種、雑草28種を収録。

④果樹編 (18-01 新書判 97頁 1,048円)

病害43種、害虫33種、雑草22種を収録。

「農業参入企業」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 企業の農業参入の手引

(26-41 A4判 48頁 713円)

農地の有効利用と担い手確保に向けて、地域の実情に応じて企業等を新たな農業のパートナーとして積極的に受け入れることが重要となっています。参入に関心を持つ企業等の皆さんに農業参入に必要な基礎的知識や参入の流れ、事業計画作成のポイント、参入後の留意点等についてわかりやすく解説しています。



2. Q&A 農業法人化マニュアル 改訂第6版

(R04-37 A4判 108頁 900円)

農業経営の法人化を志向する農業者を対象に法人化の目的やメリット、法人の設立の仕方、法人化に伴う税制や労務管理上の留意点などの疑問に一問一答形式で解説。



3. 3訂 農業法人の設立

(R04-36 A4判約 220頁 2,200円)

農地所有適格法人の要件と法人形態の選択、会社法人と組合法人の比較、法人の設立手続き、農業法人の税・資金と労務対策などを詳しく解説した実務書です。3訂では、農業経営の発展過程と法人化を踏まえた経営理念・経営戦略立案の重要性、合同会社の設立手続きなどを追加予定としています。



4. 新規就農ガイドブック

(R04-39 A5判 130頁 1,210円)

就農までの道筋を具体的にイメージするために必要となる農業に関する基礎知識や注意点について、図表を多く用いてわかりやすくまとめました。就農地や作目の選択をはじめ、資金・農地の確保の仕方、営農技術の習得方法まで幅広く紹介しています。監修は全国新規就農相談センター。



5. 3訂 農業の労務管理と労働・社会保険 百問百答

(R04-22 A5判 322頁 1,650円)

採用から退職に至るまでの労働条件の決定と就業規則の作成、安全衛生や福利厚生を含む労務管理全般について解説。労働・社会保険の基本的な仕組みと手続きも充実させた一問一答集です。今回の改訂では、働き方改革や法改正伴う年休5日の取得義務化、パワハラ・セクハラの取り扱い、特定技能外国人制度の導入など、近年の労働環境の変化に伴い重要と考えられる12の設問を追加しました。



6. 雇用の心得 最初の一歩 諏訪 学・塙越 理恵 共著 【全国農業図書ブックレット 19】 (R04-28 A5 判 32 頁 550 円)

初めて従業員を雇用する際に最低限知っておきたい知識をまとめたブックレット。労働時間や給与に関する決まりから農業における特例までわかりやすく紹介。従業員採用に関する不安を払拭し、最初の一歩をフォローする一冊。



7. 簿記

① 3訂 複式農業簿記実践テキスト

(R04-26 A4 判 135 頁 1,700 円)

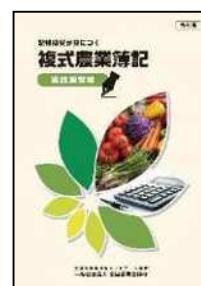
簿記帳のイロハから実務まで網羅した手引書。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新。



② 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳

(R03-08 A4 判 48 頁 420 円)

「3訂 複式農業簿記実践テキスト」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



③ 改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記 ソリマチ（株）「農業簿記11」体験版CD-ROM付 (31-36 A4 判 167 頁 3,000 円)

ソリマチ（株）の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めた人に最適の入門書です。



④ 2022年版 勘定科目別農業簿記マニュアル 青色申告から経営改善につなぐ (R04-16 A4 判 234 頁 2,160 円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理。「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書や研修会のテキストに最適です。最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。執筆者は税理士の森剛一氏。



8. 税務

①令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08 A4判 127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



②令和4年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制

(R04-07 A5判 180頁 1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説を掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。



③【リーフ】改訂2版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか

(31-23 A4判 8頁 90円)

相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説し、相続時精算課税制度も収録。31年税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版の農業者向けリーフです。



9. 日本農業技術検定過去問題集（4月12日刊行予定）

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができるとして、学生から社会人まで幅広く活用されています。

①2023年版 日本農業技術検定 過去問題集3級

(R05-01 A5判 224頁+96頁 1,100円)

2022・2021・2020 年度に行われた試験問題5回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



②2023年版 日本農業技術検定 過去問題集2級

(R05-02 A5判 184頁+68頁 1,100円)

2022 年度に行われた試験問題 2 回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



10. 病害虫・雑草フィールドブック

主要な病害虫・雑草をカラー写真とともに簡便に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

①水稻編 (17-04 新書判 87 頁 1,048 円)

病害 16 種、害虫 23 種、雑草 39 種を収録。

②野菜編 (17-05 新書判 102 頁 1,048 円)

病害 94 種、害虫 33 種、雑草 26 種を収録。

③柑橘編 (17-57 新書判 97 頁 1,048 円)

病害 19 種、害虫 31 種、雑草 28 種を収録。

④果樹編 (18-01 新書判 97 頁 1,048 円)

病害 43 種、害虫 33 種、雑草 22 種を収録。



11. 令和版 よくわかる農政用語集 ~農に関するキーワード 1000~

(31-31 B6 判 276 頁 2,000 円)

農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約 1,000 語集めてわかりやすく解説した用語集です。

農業の法律や制度・施策をはじめ、農業関係機関・団体、経営や生産技術、食料流通、販売、消費、環境問題などの各分野からおおむね 1,000 語選び、わかりやすく簡潔に解説・説明を加えています。



12. 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20 新書判 179 頁 837 円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第 1 章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



13. 新世代の農業挑戦 ~優良経営事例に学ぶ~ 叶 芳和 著

(26-14 新書判 251 頁 1,121 円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリットに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線を取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取り組みを紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



「新規就農者」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 新規就農ガイドブック (R04-39 A5判 130頁 1,210円)

就農までの道筋を具体的にイメージするために必要となる農業に関する基礎知識や注意点について、図表を多く用いてわかりやすくまとめました。就農地や作目の選択をはじめ、資金・農地の確保の仕方、営農技術の習得方法まで幅広く紹介しています。監修は全国新規就農相談センター。



2. 作目別 新規就農 NAVI 1野菜編 (R02-42 B5判 25頁 440円)

新規就農に関心を持ち、作目を絞って具体的な行動を起こそうと考えている方に必要となる基礎知識を示す道案内（ナビ）です。野菜作で就農する場合の産地や制度、品目別経営収支や必要となる資金、労働力などの基礎知識に加え、相談・体験・現場見学を経て就農に至る道のりを網羅しています。



3. 日本農業技術検定過去問題集 (4月12日刊行予定)

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができるとして、学生から社会人まで幅広く活用されています。日本農業技術検定協会事務局による検定の概要や、申し込み方法、勉強の仕方なども掲載。

① 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集3級

(R05-01 A5判 224頁+96頁 1,100円)



2022・2021・2020年度に行われた試験問題5回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。

② 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集2級

(R05-02 A5判 184頁+68頁 1,100円)



2022年度に行われた試験問題2回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。

4. だれでも楽しめる！簡単野菜づくり (25-29 A5判 115頁 1,257円)

野菜づくりの基本とも言える土づくり、肥料の施用方法のイロハから、野菜ごとの栽培方法まで、イラストを使ってわかりやすく紹介しています（全ページカラー）。多数の著書があり、野菜づくりのトップエキスパートである園芸研究家・小林五郎氏の書き下ろし。野菜づくりを始める人はもちろん、経験がある人にも、きっと新しい発見がある一冊です。



5. 藤田智の園芸講座 藤田智 著 (R04-40 A5判 162頁 1,430円)

テレビでもお馴染みの筆者が楽しくわかりやすく野菜づくりを解説します。約50の野菜の栽培方法のほか、畑づくりの方法や病害虫防除についても紹介。菜園計画を立てるのに役立つ作付カレンダーも付いています。野菜づくりの入門書としてはもちろん、新しい知識を得たい経験者の方にもぴったりです。



6. 病害虫・雑草フィールドブック

主要な病害虫・雑草をカラー写真とともに簡潔に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

①水稻編 (17-04 新書判 87頁 1,048円)

病害16種、害虫23種、雑草39種を収録。

②野菜編 (17-05 新書判 102頁 1,048円)

病害94種、害虫33種、雑草26種を収録。

③柑橘編 (17-57 新書判 97頁 1,048円)

病害19種、害虫31種、雑草28種を収録。

④果樹編 (18-01 新書判 97頁 1,048円)

病害43種、害虫33種、雑草22種を収録。



7. 令和版 よくわかる農政用語集 ~農に関するキーワード1000~

(31-31 B6判 276頁 2,000円)

農政に関する用語を中心に現代の農についてのキーワードを約1,000語集めて解説した用語集です。農業の法律や制度・施策をはじめ、農業関係機関・団体、経営や生産技術、食料流通、販売、消費、環境問題などの各分野から選び、簡潔に解説・説明を加えています。



8. 何でも聞いちやえ アグリの話 第2集

(R04-18 A4判 48頁 800円)

全国農業新聞連載の「何でも聞いちやえ アグリの話」で扱った記事をとりまとめた本の第2集。登場人物は、好奇心旺盛な高校1年生の瑞穂と、瑞穂の伯父で農業委員の耕一。2人の会話(Q&A)を通じて農業施策・用語をやさしく学べます。



9. 令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08 A4判 127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をはじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



10. 3訂 複式農業簿記実践テキスト

(R04-26 A4判 135頁 1,700円)

簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書です。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新しました。

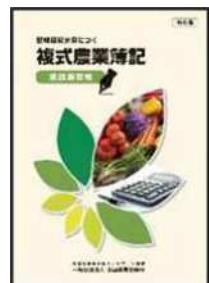


11. 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳

(R03-08 A4判 48頁 420円)

「3訂 複式農業簿記実践テキスト」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。

テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



12. 改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記 ソリマチ（株）「農業簿記11」体験版CD-ROM付 (31-36 A4判 167頁 3,000円)

ソリマチ（株）の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めた人に最適の入門書。



13. 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著

(18-20 新書判 179頁 837円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」（第1章マーケティングの基礎知識より）。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



「農業高校生」にお勧めする全国農業図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 新規就農

1) 新規就農ガイドブック (R04-39 A5判 130頁 1,210円)

就業フローチャートに沿って、就農までの道のりを具体例で示しながらわかりやすく解説します。特に「方向性の選択」では、作目別に新規就農者が直面する問題と解決方法を提示し、「法人就職」では法人就職マニュアルを掲載するなど就農へのノウハウを紹介。就農した先輩のインタビューも掲載した、農業を仕事にしたい人に贈る一冊です。



2) 作目別 新規就農 NAVI 1野菜編 (R02-42 B5判 25頁 440円)

新規就農に関心を持ち、作目を絞って具体的な行動を起こそうと考えている方に必要となる基礎知識を示す道案内（ナビ）です。野菜作で就農する場合の産地や制度、品目別経営収支や必要となる資金、労働力などの基礎知識に加え、相談・体験・現場見学を経て就農に至る道のりを網羅しています。



2. 簿記・青色申告、税制

1) 令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08 A4判 127頁 900円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



2) 3訂 複式農業簿記実践テキスト

(R04-26 A4判 135頁 1,700円)

簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えて記入例を更新。



3) 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳 (R03-08 A4判 48頁 420円)

「3訂 複式農業簿記実践テキスト」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。

テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



4) 改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記 ソリマチ(株)「農業簿記11」体験版CD-ROM付 (31-36 A4判 167頁 3,000円)

ソリマチ(株)の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めた人に最適の入門書です。



5) 令和4年度版 農家のためのなんでもわかる 農業の税制 (R04-07 A5判 180頁 1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問についてていねいに答えています。



3. マーケティング、経営戦略

1) 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著

(18-20 新書判 179頁 837円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」

(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



2) 新世代の農業挑戦 ~優良経営事例に学ぶ~ 叶 芳和 著

(26-14 新書判 251頁 1,121円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリットに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線を取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取り組みを紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



4. 農業経営改善（認定農業者、法人化）

1) 【リーフ】地域農業の担い手 「認定農業者」

(R03-26 A4 判 12 頁 110 円)

認定農業者になるための要件や手続き、認定農業者になると受けられる主な支援措置など制度の仕組みとメリットを解説。従来の内容に加え、2020年4月から始まった国・都道府県認定とそれに伴う電子申請も説明しています。農業経営改善計画の様式と記載上の注意点も収録。



2) 【リーフ】農業経営を法人化しませんか？

(R02-25 A4 判 8 頁 100 円)

家族経営の法人化や集落営農の法人化の意義に始まり、会社法人と農事組合法人の違いを比較表で明示。農地所有適格法人の4つの要件を解説しつつ、解除条件付き貸借による一般法人の農業参入の要件も簡潔に示しています。法人設立の手順も図示。信用力の向上や人材確保、販路拡大、税制特例など法人化のメリットと義務負担についても解説しています。



5. 農地制度、農業委員会制度

1) 【リーフ】農業委員会はこんな活動をしています

～がんばっています！農業委員・推進委員～ (31-24 A4 判 4 頁 45 円)

「地域農業の振興」や「農地法等の農地行政の執行」、「農業の担い手支援」等に取り組んでいる農業委員会／農業委員・農地利用最適化推進委員の基本的な役割や主な活動について、イラスト入りでわかりやすく示したリーフレットです。



2) 研修テキストシリーズ

①農業委員会制度－農地利用の最適化の推進－

(R03-34 A4 判 28 頁 370 円)

新たな農業委員会制度の概要と農業委員・農地利用最適化推進委員・農業委員会の業務についてわかりやすく説明したテキストです。令和4年4月施行の農地利用最適化推進委員の定数基準の緩和など最新の制度改正を反映しました。 **※令和5年6月に改訂版刊行予定**



②農地法 (R03-23 A4 判 38 頁 480 円)

農地制度の概要、農地法にもとづく農業委員会・農業委員等の業務についてわかりやすく説明したテキストです。研修教材として、総会・部会等での参考資料として幅広く活用できる内容です。令和3年「遊休農地に関する措置」等を反映した最新版です。

※令和5年6月に改訂版刊行予定



③農地関連法制度 (R02-08 A4 判 20 頁 320 円)

農地法に関する基盤法、中間管理法、農振法を中心に、特定農地貸付法や、市民農園整備促進法、土地改良法などについて、その基本的な仕組みとともに、農業委員会の役割についてわかりやすく解説しました。農業委員等を対象とした研修会等でご活用ください。

※令和 5 年 6 月に改訂版刊行予定



6. 支援施策等

1) 2022 年度版 農家相談の手引～農地・経営対策に役立つ！ 支援制度の資料集～

(R04-14 A4 判 124 頁 850 円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。農業委員・推進委員の役割、「人・農地プラン」の実質化など農地と担い手の確保、経営継承や農業者年金など農業者の経営発展、国による支援制度に関する事項を収録しています。



2) まんがでわかる！農業者年金 (R04-09 A4 判 16 頁 210 円)

農業者年金をまんがで紹介したリーフレットです。農業者年金になじみのない方でもお気軽に読みいただけます。少子高齢時代に強い年金であり、保険料額は自由に決められること、終身年金で 80 歳までの保証付き、公的年金ならではの税制の優遇措置、担い手への保険料補助など 6 つの特徴や令和 4 年以降の制度改正についてもわかりやすく紹介しています。



3) 人生 100 年時代 農業者年金で備える老後設計 (R03-29 A4 判 28 頁 200 円)

お金の不安にまつわる様々な問題を農業現場に寄り添うファイナンシャルプランナーが解説しています。長期運用、複利運用、節税などのメリットが際立つ農業者年金への早期加入を軸に「人生 100 年時代」に備えておきたい 3 つのことを提案しています。さらに、遺言と生命保険を活用した相続対策も解説。長くなつた老後に不安を抱く全ての人におすすめしたい一冊です。



4) 令和 5 年度 経営所得安定対策と米政策 (R04-25 A4 判 16 頁 110 円)

新型コロナウイルス禍の需要減少などに伴う米価下落が問題となる中、主食用米から飼料用米等への作付転換の重要性が一層高まっています。水田フル活用、水田農業高収益化の推進に向けた支援を活用しましょう。ゲタ対策、ナラシ対策、収入保険等も掲載しています。本パンフレットは、これらの制度についての普及啓発資料として幅広く活用できます。

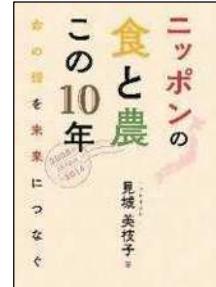


7. 農政全般

1) ニッポンの食と農 この10年～命の糧を未来につなぐ～ 見城 美枝子 著

(27-19 B6判 256頁 1,528円)

著者の農業応援のきっかけは40年前、海外取材で体調を崩し、おかげで復帰して以来、和食生活になったこと。そして、「日本農業の応援」には「国産の農産物を買うこと」と農業者から言われたこと。それ以来、「国産しか買わない」「国産で子供を育てる」を貫いています。「食料依存でさらなる敗戦国としての従属を強いられないよう、食と農のこの10年をひとつの『時のくくり』として読んでいただき、そこから次の10年、未来につなげる日本の食と農のあり方を考えて」(はじめにより)と呼びかけています。



2) 令和版 よくわかる農政用語集 ~農に関するキーワード1000~

(31-31 B6判 276頁 2,000円)

農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約1,000語集めてわかりやすく解説した用語集です。

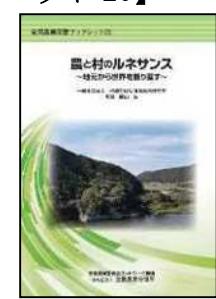


3) 農と村のルネサンス～地元から世界を創り直す～【全国農業図書ブックレット20】

藤山浩 著 (R04-38 A5判 135頁 880円)

地球温暖化をはじめとする環境問題は、日本社会が高度経済成長期以降の「大規模・集中・グローバル」から脱却し、「小規模・分散・ローカル」な循環型社会へ移行することを促しています。

都会への一極集中を解消し、循環型社会を実現するためにすべきことは何か——地方創生研究の第一人者で、日本中を飛び回って支援を行っている筆者が、各地の事例をもとに分析します。



8. 農業技術

1) 日本農業技術検定過去問題集（4月12日刊行予定）

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができるとして、学生から社会人まで幅広く活用されています。

① 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集3級

(R05-01 A5判 224頁+96頁 1,100円)

2022・2021・2020年度に行われた試験問題5回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



② 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集2級

(R05-02 A5判 184頁+68頁 1,100円)

2022年度に行われた試験問題2回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



2) 病害虫・雑草フィールドブック

主要な病害虫・雑草をカラー写真とともに簡便に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

①水稻編 (17-04 新書判 87 頁 1,048 円)

病害 16 種、害虫 23 種、雑草 39 種を収録。

②野菜編 (17-05 新書判 102 頁 1,048 円)

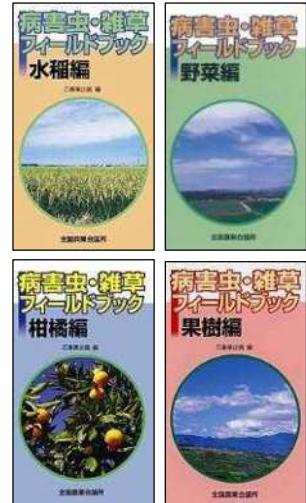
病害 94 種、害虫 33 種、雑草 26 種を収録。

③柑橘編 (17-57 新書判 97 頁 1,048 円)

病害 19 種、害虫 31 種、雑草 28 種を収録。

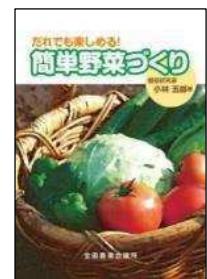
④果樹編 (18-01 新書判 97 頁 1,048 円)

病害 43 種、害虫 33 種、雑草 22 種を収録。



3) だれでも楽しめる！簡単野菜づくり (25-29 A5 判 115 頁 1,257 円)

園芸研究家・小林五郎氏の書き下ろし。野菜づくりの基本とも言える土づくり、肥料の施用方法のイロハから、野菜ごとの栽培方法まで、イラストを使ってわかりやすく紹介しています。野菜づくりを始める人はもちろん、経験がある人にも、きっと新しい発見がある一冊です。



4) 藤田智の園芸講座 藤田智 著 (R04-40 A5 判 162 頁 1,430 円)

テレビでもお馴染みの筆者が楽しくわかりやすく野菜づくりを解説します。約 50 の野菜の栽培方法のほか、畑づくりの方法や病害虫防除についても紹介。菜園計画を立てるのに役立つ作付カレンダーも付いています。野菜づくりの入門書としてはもちろん、新しい知識を得たい経験者の方にもぴったりです。



農の雇用事業（教育研修費助成・指導者研修費助成）・雇用就農資金」関係図書

令和5年4月
(一社)全国農業会議所出版部

農の雇用事業では、研修生の各種資格取得に向けた図書の購入費のほか、指導者や経営者が人材育成・労務管理等の向上に必要な図書の購入費も助成対象となっています。

指導者や経営者には、人材育成や労務管理だけでなく簿記・青色申告、税制、マーケティング等に関する図書にも目を通して資質向上に努め、指導にあたることが求められます。研修生は、OJT研修のほか、座学研修、自己研さんを通じて獲得した知識と技術を「日本農業技術検定」等の検定試験を通じて確認することが必須・推奨されており、過去問題集を活用した受検対策が有効です。

I. 指導者研修費の助成対象となる図書（指導者・経営者向け）

1. 人材育成・労務管理関係

① 改訂5版 農業の従業員採用・育成マニュアル（31-34、4,200円）

CD-ROM付き

農業の従業員の採用や育成に関する実務的なマニュアル書。第5版では、働き方改革なども解説。申告書、変更届、関連資料等も最新のものとしました。正社員のほか、パートタイマー、研修生、外国人技能実習生、出向等など、雇用に関するすべての事項について網羅していますので、広くご活用ください。著者は、特定社会保険労務士の入来院重宏氏。



② 3訂 農業の労務管理と労働・社会保険 百問百答

（R04-22、1,650円）

労働条件の決定と就業規則の作成、安全衛生や福利厚生を含む労務管理全般について解説。労働・社会保険の基本的な仕組みと手続きも充実させた一問一答集です。



2. 経営関係

（※ 研修実施計画の内容と関連している場合に限り助成対象となりますので、ご留意下さい）

① 3訂 複式農業簿記実践テキスト（R04-26、1,700円）

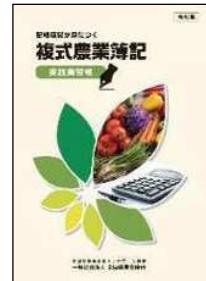
簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書。特に学習のヤマ場といわれる「仕訳」で多くの仕訳例を掲載。今回の改訂では、農業経営基盤強化準備金を取り崩して固定資産を購入する場合の設例を法改正に合わせて修正し、所得税青色申告決算書を最新様式に差し替えで記入例を更新しました。



② 令和版 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳

(R03-08、420 円)

「令和版『わかる』から『できる』へ 複式農業簿記実践テキスト」に対応した実践的な演習帳。テキストによる学習と併せて演習問題にチャレンジすることで、学習効果が飛躍的に高まります。テキストの対応ページを記載した問題と解答を本冊に収録。別冊の解答用紙は切り離して利用できます。



③ はじめてのパソコン農業簿記 改訂8版

ソリマチ（株）「農業簿記11」 体験版CD-ROM付 (31-36、3,000円)

ソリマチ（株）の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めた人に最適の入門書です。パソコン初心者のためにマウスやキーボードなど機器の名称や操作説明、入力用ローマ字表も掲載しています。



④ 2022年版 勘定科目別農業簿記マニュアル 青色申告から経営改善につなぐ

(R04-16、2,160 円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理。「わからないとき」に必要な部分が参考しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書や研修会のテキストに最適です。最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。執筆者は税理士の森剛一氏。



⑤ 令和4年度版 よくわかる農家の青色申告 (R04-08、900 円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の入門書です。

令和4年度版は、農業経営基盤強化準備金の対象者を人・農地プランの中心経営体とするなどの制度改正を反映。確定申告書の様式変更に伴う記載例・説明も見直しています。



⑥ 令和4年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制 (R04-07、1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。



⑦ 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20、837円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャネルを明確にすること」

(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た実例を紹介し、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



II. 教育研修費の助成対象となる図書

日本農業技術検定関係

日本農業技術検定過去問題集（4月12日刊行予定）

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができる検定試験として、学生から社会人まで幅広く活用されており、雇用就農資金事業では研修期間中に研修生が日本農業技術検定を受験することが推奨されています。以下の過去問題集には、各年度に実際に出題された問題と現役教師や専門家による解説を掲載しています。検定試験の概要や、申し込み方法、勉強の仕方なども盛り込んでいます。

① 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集3級

(R05-01 1,100円)

2022・2021・2020年度に行われた試験問題5回分と、現役教師による解説を掲載しています。



② 2023年版 日本農業技術検定 過去問題集2級

(R05-02 1,100円)

2022年度に行われた試験問題2回分と、現役教師による解説を掲載しています。



III. 研修テキスト（雇用就農資金が対象）

農業の雇用シリーズ

本シリーズは農業法人等の経営者・指導者を対象とした研修向けの教材であり、従業員の採用から労務管理、保険加入、就業規則、給与計算、人事評価まで、テーマごとの分冊で分かりやすくまとめたものです。農業会議が実施する指導者養成研修会の研修テキストとしてご活用ください。

- ①農業の雇用シリーズ 1 初めての従業員採用 (R02-37、320 円)
- ②農業の雇用シリーズ 2 初めての労務管理 第6版 (R04-34、440 円)
- ③農業の雇用シリーズ 3 初めての労働保険・社会保険 (R03-32、450 円)
- ④農業の雇用シリーズ 4 初めての就業規則 (R02-38、750 円)
- ⑤農業の雇用シリーズ 5 初めての給与計算 (R02-20、590 円)
- ⑥農業の雇用シリーズ 6 初めての人事評価制度 (R03-33、320 円)

